

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	仁科の郷伝統・歴史文化発信プロジェクト
事業主体 (連絡先)	仁科の郷イベント実行委員会 事務局 090-1546-4538 (担当:横澤)
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,091,531円 (うち支援金:791,000円)

事業内容

1. 仁科氏歴史・文化の常設展示場の設営

・整備・運営

年間3万人余りが訪れる仁科神明宮境内に、平安時代以降、京文化を伝え根付かせた地元豪族、仁科氏が築いた歴史文化を情報発信する場所として旧宝物殿(大町市より借用)を選定し展示会場とした。

令和元年に行った「仁科氏歴史・文化展」で展示した内容を地域伝統・文化を紹介すべく魅力ある情報として精査しパネル展示可能なコンテンツ作り及び展示会場造りを行った。



【国宝仁科神明宮】歴史展示館

実施場所 : 大町市社1159番地(仁科神明宮境内、旧宝物殿)

規模(スペース): 19.44㎡(約12畳)  
壁面(高さ3m\*幅5m / 3、5面)

準備期間: 令和2年7月5日  
~12月23日

先行公開: 令和3年1月1日~14日

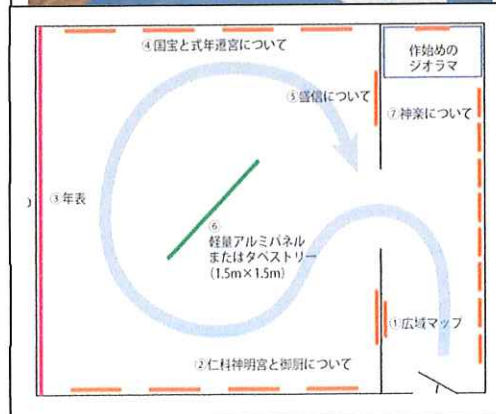
※コロナ禍、展示会場オープン記念イベントは中止とし、先行公開期間のみとした。

※使用に当たっては、所有管理者(仁科神明宮)と大町市との間で使用貸借契約を締結。

《 補 足 》 (旧宝物殿選定の経緯)

仁科神明宮には重要文化財指定されている棟札及び御正体があり、45年前に国及び県・市の助成を受けて建築した背景がある。

しかし、平成11年に国(文化庁)からの指導により保存環境を改善する目的で現在の宝物庫を建設、国の指定文化財を移す事により活用されてはならず、今回の事業を行うことで有効活用を図る事とした。



【 会場 レイアウト 】

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

### ①市民の意識高揚を図る

多くの方に来観頂き、地元の歴史・文化（仁科氏）にふれて頂くことにより、地域の魅力を再認識頂く事ができた。

### ②地域外に大町の歴史・文化を発信

地域外から来観頂いた方にも、地域歴史・文化を築いた仁科氏を紹介する事で、国宝仁科神明宮を中心とした貴重な文化遺産がある事に関心を示して頂く事ができた。

### ③地域振興

当初、県内外のPR活動を考え、オープンニングイベントを考えたが、コロナ禍のなか中止とした事で当初計画した内容の広報は出来なかった。

しかし、市内に開設する会社（食品製造工場）から‘大町を知る’為の社員研修の場として活用頂く事が出来、新しいニーズが生まれる事となったなり地域に大きく貢献できた。

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長野県発「元気づくり支援金」事業で開設した常設展示“歴史展示館”を有効的に活用すべく、支援団対と協議し広報活動を充実させ、地域に点在する歴史遺産を深掘し、展示内容等の充実を図る。

1. 仁科氏歴史・文化の常設展示の設営・整備運営
2. 大町市のインスタグラムの仕組みを活用による情報発信

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 【目標・ねらい】

- ①市内に点在する歴史遺産を一堂に会し紹介する事で市民の意識高揚を図る。
- ②大町市を訪れる地域外の方に大町の歴史文化を広く紹介する場とする。
- ③地域振興の一助となる場とする、

※自己評価【 B 】

## 【理由】

今回のイベント評価はコロナ禍であることから地域振興の為のイベントが出来なかった事が自己評価【B】の要因である。

しかし、先行公開に訪れた方の展示内容の評価も得、また、新しいニーズとして社員研修の場やスポットCMを行った事から“歴史展示館”に対する関心も高く知名度も上がり、成功裏に終る事ができた。